



# 信頼構築を促進して分散型社会への移行を加速します

## 概要

分散型社会においては、地理的に分散した活動主体が自律的に連携するため、主体間の信頼構築が欠かせません。データ分析により信頼度を算出し関係構築を促します。人やコミュニティの社会関係性、すなわちソーシャルキャピタル（相互信頼、互酬性規範）を情報価値として活用するコンセプトを紹介します。

## 特徴

- データ活用により価値観を抽出しソーシャルキャピタル情報として利用
- 情報主体が情報の利活用を主体的に管理できるセルフ・ソブリン型データ管理

## 利用シーン

- リモートで知り合った相手との社会・経済活動のための信頼構築
- 信頼関係に基づいた情報の信頼性の評価

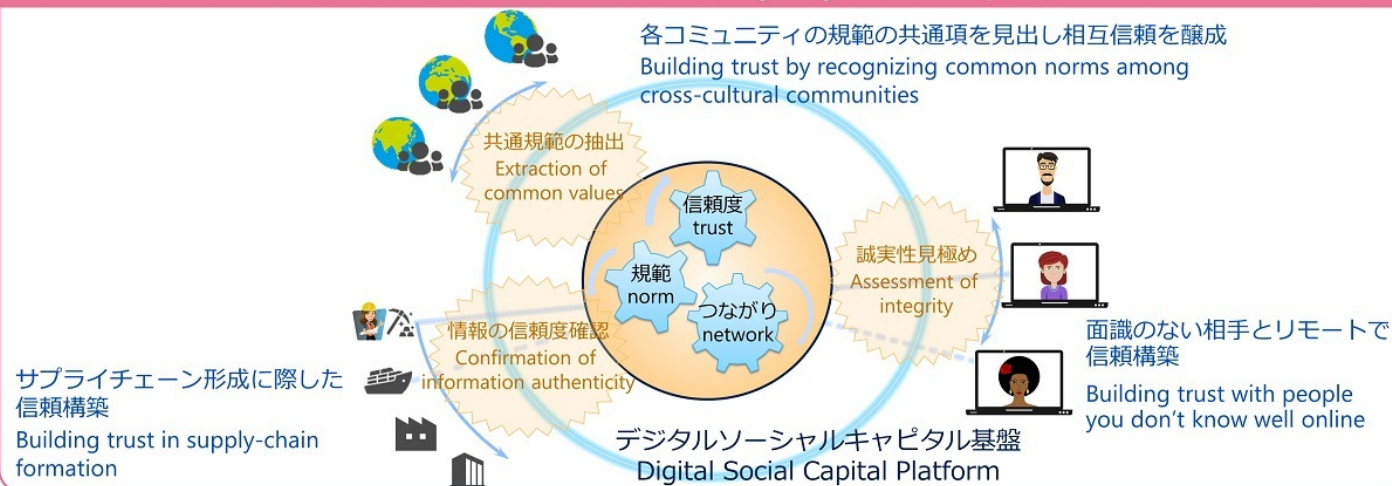
## 今後の展開

- さまざまなデータから価値観を抽出することでソーシャルキャピタルのデジタル化を進め、自身の情報を主体的に管理できる情報管理基盤の実現をめざします。

## コラボレーションパートナー

- 慶應大学と共同研究を進めています。

### デジタルソーシャルキャピタル基盤によりめざす世界 Future Vision of a World Connected through Digital Social Capital Platform



## 出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先：  
rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp